

平成21年度第1回学術技術交流会の報告

平成21年6月19日(金)

(独)農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター(つくば)

【話題提供】

1. 「有機高分子多孔体の機能性開発と応用展開への可能性」
東北大学 久保拓也、細矢 憲
2. 「RFID・GPS・バーコードリーダを用いた即時データ転送可能な簡易農作業記録システムの開発」および「バリアフリー農業のための新材料の提案」
中央農研 櫻本直美、横山 和成
3. 「歴史ある肥料「石灰窒素」の新しい用途」
電気化学工業 坂下普志
4. 「2030年の食とテクノロジーを考える」
東北大学 石田秀輝
5. 「セラミックス多孔体の農業技術への展開可能性」
JFCC 松原秀彰

日本の農業・食品産業技術をリードする研究機関であるつくば 中央農業総合研究センターとの交流を行い、農業・食糧分野と我々の賢材研究との接点をさぐる絶好の機会となりました。

報告者: 松原



中央農業総合研究センターの玄関



当日、大変お世話になった横山さん(右)と櫻本さん(左)